

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱 法人事業報告

1. 概要

法人理念を基に以下の法人目標を掲げ、事業運営に取り組んだ。

- ① 利用者の自己決定・自己実現を尊重し、尊厳を侵すことのないよう利用者主体の支援・サービスを提供する。
- ② 人材の確保・育成・定着を行い、業務の効率化に取り組む。
- ③ 働きやすい職場環境を作り、人材育成に積極的に取り組む。
- ④ 事業の安定化や収益確保に努め、継続性を持った事業運営を行う。
- ⑤ 社会貢献事業において、社会課題に積極的に取り組む。

2024 年度は「働きやすい職場作り・ハラスメント対策における体制整備」「人事考課・キャリアパス制度の構築」「法人本部体制の強化」等将来の法人運営を見据えた戦略的な取り組み、次世代を担う経営人材育成計画に伴う組織形態の変更に向けての準備等、大きな転換期となる一年であった。

2025 年度も利用者・家族・地域のニーズに真摯に向き合い、質の高い支援・求められるサービスを提供できるよう、人材育成・サービスの質の向上に努め社会福祉法人としての責務を果たしていく。

2. 目標に対する取り組み

- ① 「利用者の自己決定・自己実現を尊重し、尊厳を侵すことのないよう利用者主体の支援・サービスを提供する。」について
 - ・ 2024 年度サービス満足度調査における意見・要望に対し法人・部門・事業所で検討を行い、改善に向けての取り組みを実施している。
 - ・ 2024 年度「支援向上委員会」を新設し、法人全体の支援力・専門性の向上に取り組んでいる。
 - ・ 利用者の権利擁護・自己実現を尊重した支援が行えるよう、虐待防止委員会を中心に研修・勉強会を実施し学びを深め、利用者主体の支援に取り組んでいる。
 - ・ サービスの質向上に向け、「児童発達支援センターめやすばこ」が、福祉サービス第三者評価を利用し、その結果を基に更なるサービスの質の向上に取り組んでいる。
- ② 「人材の確保・育成・定着を行い、業務の効率化に取り組む。」について
 - ・ 2024 年度法人広報委員会が開設した SNS（インスタグラム）、リニューアルした法人ホームページを活用して、幅広い層の人材を募り、良質な人材の確保に向けての広報体制強化を進めている。（2024 年度新卒採用者 5 名）

- ・多様な働き方をテーマに新たな人事考課・キャリアパス制度の構築に向けて、法人プロジェクトチームと外部コンサルタントが連携し、制度設計に向け協議を開始している。

- ・「小口現金管理に特化したシステム」を2025年1月から試験導入している。今後クレジットカードと連携した上での本格導入を進めていくことで、業務効率化を図っていく。

③ 「働きやすい職場環境を作り、人材育成に積極的に取り組む。」について

- ・「人間力・プロ意識」をテーマにした法人研修を実施し、新人層から中堅層・管理層に至るまで、法人の求める職員像を理解し、階層・役職に必要なスキルの向上を目的とした階層別研修を実施し、重層的な人材育成に取り組んでいる。

- ・法人職員を対象に実施した外部機関による働きやすさアンケート結果を検証し、職員の働きやすさと満足度向上に向けて具体的な取り組みを検討している。

- ・ハラスメント防止に向けて「ハラスメント定義」「ハラスメント委員会マニュアル」「ハラスメント対応マニュアル」を作成し、法人全職員に周知している。2025年度は新たにハラスメント委員会・外部相談受付窓口を設置し、ハラスメント防止に向け体制整備を進めていく。

④ 「事業の安定化や収益確保に努め、継続性を持った事業運営を行う。」について

- ・経営面に関して、法人全体で2024年度当初予算を上回る結果を残すことができた。今後も事業展開・施設整備・職員の所得向上等に資金を投入している現状を法人全体で共有した上で、利用調整・コスト削減に努め安定的な事業運営を行う。

- ・2024年度報酬改定について、各部門で改定内容を精査した上で、運営体制や加算取得に対して、適切に対応することができている。

- ・法人本部体制を強化し、法人全体最適の視点での戦略的人事・事業展開・人材育成を行う組織体制への移行を図っている。

⑤ 「社会貢献事業において、社会課題に積極的に取り組む。」について

- ・地域における様々な福祉課題、生活課題に対して、地域貢献委員会を中心に関係機関等と連携・協働を図り公益的な取り組みを推進している。

- ・社会福祉法人として地域連携を通じた貢献事業の実施に加え、生活困窮者に対する食糧支援に積極的に取り組んでいる。

- ・地域の福祉人材育成を目的に、社会福祉士・精神保健福祉士・保育士等の資格取得を目的とした実習生の受け入れを積極的に行った。

- ・毎年実施していた「くらしきサタウオーク」を終了し、新たな地域貢献イベント「めやすばこフェスタ」を倉敷市羽島で開催している。フェス当日は地域住民・ご利

用者・保護者・関係機関の方々等300名を超える参加があり、次年度以降継続的に開催する予定である。

【具体的な取り組み】

○地域住民向け研修会の開催

○生活困窮者への支援（フードバンク、フードドライブ、フードパントリーによる食材や生活物資の提供）

○地域貢献イベント（めやすばこフェスタ）の開催

3. 法人運営体制について

- ・2024年 5月「就労継続支援B型事業所みのり」開設（倉敷市西阿知）
- ・2024年11月「法人本部」開設（倉敷市西阿知）
- ・2025年3月「ワークスめやす箱：就労継続支援A型事業（定員10名）」廃止

4. 法人委員会活動について

（※ 別紙「2024年度委員会活動報告書（案）」参照）

5. 今後の課題

今後も「安心」「安全」な事業所運営を最優先に、ご利用者や保護者のご要望等に耳を傾けサービスの質の向上を図るとともに、「利用者満足度」の更なる向上を目指して取り組みを行う。

2025年度は新たに「支援サポートセンターめやすばこ・リーチ」を開設し、法人全体の支援力・専門性の向上に取り組む。またサービスの質向上に向け、福祉サービス第三者評価の活用、推進についても今後継続的に検討する。

車両事故に関して、過失を伴う事故が法人全体で年間10件発生している。今後も安全運転に対する意識の向上と運転業務の負荷軽減に向けての検討を行っていく。

経営面では、2024年度報酬改定の影響もあったが、各部門で適切な対応を行うことで、法人全体で当初予算を上回る業績を上げることができた。今後も管理職を中心とし、サービスの質の向上を図りつつ収益・稼働率の安定化に努め、運営基盤の安定に取り組んでいく。また、持続的且つ安定した法人運営を行うため、法人中長期計画の策定、新規事業展開、建物老朽化に伴う施設整備・改修、財務基盤整備、次世代の経営層・管理職の育成についても重点的に取り組む。

時代の変化とともに多様な働き方が求められる中、2025年度新設の「働きやすさ推進委員会」が中心となり、「職員が働きやすい環境作り」の在り方について検討し、具体的な取り組みを行っていく。